

わか

社団法人 京都府青少年育成協会

京都市上京区出水通池小路東入丁子洲呂町104-2
(京都府庁西別館3F)
TEL 075(417)0602 FAX 075(417)0603
メールアドレス kpyda@cclo.ocn.ne.jp

2010
Vol.118



もの

の

京都



平成21年度「明るい家庭づくり(家庭の日) 絵画展」 京都府知事賞 受賞作品



平成22年度通常総会報告	p2~3
青少年育成府民運動の推進に伴う街頭啓発活動の実施	p4
「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の主な取組	p5
青少年育成市町村民会議との懇談会	p6
平成22年度少年の主張京都府大会 開催結果	p7
京都府知事賞作文 平成22年度少年の主張京都府大会	p8



メールマガジンわかもの京都 好評発行中!!
京都から、「青少年」をキーワードに、地域、団体、行政の取組や青少年を取り巻く様々な情報をお届けします。もちろん!!京都の情報もお届けします。
ぜひ御登録ください。(登録無料)

わかもの京都

平成22年度の役員体制

役 職	氏 名	所 属(役 職)
会 長	津 守 俊 一	学識経験者
副 会 長	齋 藤 哲 男	宇治市青少年健全育成協議会会長
副 会 長	羽生田 淑 裕	日本ボーイスカウト京都連盟副連盟長
副 会 長	浜 口 みゆき	京都府PTA協議会庶務
理 事	竹 内 謙 一	舞鶴子ども育成支援協会会長
理 事	栗 田 淳 子	京都府連合婦人会理事
理 事	西 村 伸 子	京都市子ども育成連絡協議会会長
理 事	大 野 伸 一	京都府スポーツ少年団事務局長
理 事	藤 小 霜	京都市地域女性連合会常任委員
理 事	奥 村 高 史	京都市PTA連絡協議会会長
理 事	井 上 眞 二子	(社)ガールスカウト日本連盟京都府支部支部長
理 事	藤 原 寛	京都府少年補導連絡協議会副会長
理 事	田 崎 仁 志	京都府連合青年団団長
理 事	三 宅 悦 子	八幡市民生児童委員協議会副会長
理 事	山 下 徹 朗	京都商工会議所常務理事
理 事	立 木 哲 生	(社)京都青年会議所理事長
理 事	宮 木 英 俊	(株)京都放送報道局・報道グループ部長
理 事	丸 毛 静 雄	京都新聞社論説委員長
理 事	井 上 正 嗣	宮津市長
理 事	坂 本 信 夫	京都府町村会教育福祉部会長 久御山町長
理 事	姫 野 孝 宏	京都府府民生活部青少年課長
理 事	安久井 由紀子	京都府教育庁指導部社会教育課長
理 事	石 田 信 幸	京都市文化市民局共同参画社会推進部勤労福祉青少年担当部長
理 事	米 田 敦 弘	京都市市町村教育委員会連合会幹事
理 事	藤 波 修 一	京都府公立中学校校長会生徒指導専門副委員長
常務理事	吉 川 直 樹	(社)京都府青少年育成協会事務局長
常務理事	藤 坂 一 雄	京都府立青少年海洋センター所長
監 事	小 林 哲 夫	茶道奥千家(財)今日庵秘書役
監 事	安 村 幸 敏	(社)働く少年をたたく会副会長

平成22年度通常総会



去る5月31日京都テルサにおいて平成22年度通常総会を開催し、平成22年度京都府青少年育成協会事業計画と予算が承認されました。

本年度も会員の皆様はじめ、府民の皆様と一体となって取り組んでまいりますので、御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

また、総会終了後、京都府立大学公共政策学部准教授 山野尚美氏の「青少年の薬物乱用防止教育」をテーマにした講演会を開催しました。青少年の薬物問題が取りざたされている中、身近な問題として捉え、これからの地域社会で活動するために大変重要な課題として参加者のみなさんは熱心に聞き入っておられました。

平成22年度事業計画「府民運動の部」

* 青少年育成府民運動の推進

- 青少年健全育成推進のための街頭啓発活動
- ・ 青少年育成団体等と協働して定期的な街頭啓発活動を実施するとともに健全育成強調月間の周知を行う。
- 「大人が変われば子どもも変わる」運動の推進
- 青少年育成指導者へのインターネット問題対応セミナーの開催
- 青少年の育成に関する講座の開催
- 青少年育成市町村民会議との懇談会の開催
- 広報・情報提供事業
- ・ 機関紙「わかもの京都」の発行
- ・ メールマガジン「わかもの京都」の発行
- ・ ファックスマガジン「わかもの京都」の発行
- ・ 健全育成情報開示の作成
- ・ インターネット広報の実施
- ・ 内閣府等の発行する青少年育成関係資料等の提供

* 青少年の自主活動・社会参加の促進、活動支援

- 少年の主張京都府大会「わたしの主張2010」の開催
- (9月26日 於：京都こども文化会館)
- 「俳句・短歌で人とのふれあいを」
- * 明るい家庭づくり運動の普及・推進
- 明るい家庭づくり運動の普及・推進
- 「家庭の日」絵画展の実施
- 明るい家庭づくり活動事例の紹介

* 青少年の問題行動の防止と社会環境浄化の推進

- 青少年の非行・被害防止全国強調月間の推進
- 「青少年の健全な育成に関する条例」の趣旨に基づき社会環境浄化運動の推進
- 各団体行事等への共催・参加協力

* 会員団体との連携・活動支援

- 会員団体等の活動に対する助言、講師紹介、後援、共催等
- 啓発資料等の貸出
- 会員相互の情報交流の支援

* 内閣府、近畿府県関係団体との連携

- 内閣府主催の会議等への参加
- 近畿府県民会議への参加等

* 法人の運営等

- 総会・理事会の開催
- 専門部会の開催
- ・ 地域活動推進部会
- ・ 青少年社会参加推進部会
- ・ 健全な家庭・地域推進部会

* 財政基礎の充実

- 賛助会員加入促進
- 企業、団体協賛の促進



「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の主な取組 ～ 7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」～

1 青少年の健全な育成に関する条例に基づく「府内一斉立入調査」

- ・時期 7月中
- ・調査員 府及び府教育委員会の職員 約200名
- ・調査対象 まんが喫茶・インターネットカフェ、図書類取扱店、携帯電話取扱店、個室ビデオ店、刃物類取扱店、コンビニエンスストア、カラオケボックス、図書類等自動販売機等 約1,200件
- ・内容 条例の趣旨の周知徹底と青少年を取り巻く社会環境の改善を図るため、関係店舗等を府内一斉に立入調査

7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」において、京都府、府教育委員会、府警察本部等では、関係機関・団体と連携して数々の取り組みを実施しました。その主な取り組みをご紹介します。



2 第32回少年を明るく育てる京都大会

- ・日時 7月4日(日)午前10時から12時頃
- ・場所 円山公園音楽堂ほか
- ・主催 京都市少年補導委員会、京都府少年補導連絡協議会、社団法人京都府少年補導協会
- ・内容 青少年育成関係者による大会とパレード(約2,700人)

3 第60回「社会を明るくする運動」法務大臣メッセージ知事伝達

- ・日時 6月28日(月)午後4時
- ・場所 1号館3階会議室
- ・来庁者 京都府保護司会連合会会長、京都府更生保護女性連盟会長等更生保護関係者
- ・内容 第60回「社会を明るくする運動」に当たって法務大臣のメッセージを知事に伝達

4 非行防止啓発パネル展

- ・時期 6月28日(月)から7月30日(金)
- ・場所 府内数箇所実施
- ・内容 京都府が青少年の非行防止を訴える啓発パネルを展示

5 非行防止街頭啓発

- ・時期 7月中 毎週1回 午後5時から6時
- ・場所 7月1日(木) JR京都駅前広場ほか
- ・主催 社団法人京都府青少年育成協会、京都府
- ・内容 非行防止の啓発チラシなどを配布



平成22年度青少年育成府民運動の 推進に伴う街頭啓発活動の実施



4月～9月実施分 報告

育成協会では、青少年問題が顕著化する中、青少年の非行防止や環境浄化を社会全体の責務と捉え、関係団体と一丸となり街頭啓発活動の充実強化を図ります。

活動テーマ

- ・明るい家庭づくり運動(家庭の日)
- ・青少年の問題行動の防止と社会環境の推進(7月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」)
- ・地域の子どもは地域で守り育てる運動(11月の「全国青少年健全育成強調月間」)
- ・大人が変われば子どもも変わる運動



街頭啓発活動の実施

実施日	実施場所	参加
4月20日(火)	ジャスコ久御山店 店舗前広場	11名
6月25日(金)	JR京都駅 駅前広場 *雨天中止	15名(予定)
7月1日(木)	JR京都駅 駅前広場	17名
7月9日(金)	四条橋丸 *雨天中止	21名(予定)
7月15日(木)	JR山科駅前	16名
7月23日(金)	阪急桂駅	12名
7月27日(火)	西条大宮	14名
8月24日(火)	JR京都駅 駅前広場	10名
9月29日(水)	JR京都駅 駅前広場	23名

少年を明るく育てる京都大会
日時:平成22年7月4日(日)午前10時～
場所:[大会]円山公園音楽堂
[パレード]円山公園音楽堂～京都市役所前

参加報告



京都府内の少年非行の現状

京都府内で昨年一年間に引き起こされた少年非行は、三、〇五四人でした。刑法犯で検挙された少年は、少年人口一、〇〇〇人当り、十八、八人と全国平均(十二、五人)のおよそ一、五倍であり、全国ワースト一位と云う結果でした。本年を「少年対策元年」と位置付ける京都府警察をはじめ、京都府や京都府教育委員会などの関係機関は、連携して、少年の非行防止対策を強化しています。当協会も京都府、京都府教育委員会、京都府警察、青少年育成市町村協議会、青少年・青少年育成団体の皆様と連携し取り組んでいます。

青少年を非行の誘惑や犯罪被害から守るために、家庭、学校、地域社会一体となって非行防止対策に取り組みましょう。

京都府「ダメ、ゼッタイ。」普及運動

6.26 ヤング街頭キャンペーン
日時:平成22年6月26日(土)午後1時30分～
場所:JR京都駅周辺

参加報告



平成22年9月26日(日)、京都こども文化会館「大ホール」にて、少年の主張京都府大会～わたしの主張2010～を開催しました。
(主催/京都府青少年育成協会・京都府PTA協議会・京都市PTA連絡協議会)

少年の主張

■ 作品募集
6月に、府内各中学校等に応募を呼びかけたところ、31校282編の作文が寄せられました。

■ 審査
株式会社京都放送 報道部長の宮本英樹氏を審査委員長に、当協会の理事会長他計7名による事前審査により、応募作文282編から大会発表者15名を選出しました。

■ 大会当日
大会は、日本ボーイスカウト京都連盟の中山典之くん(中学3年生)、河北和音さん(中学3年生)の司会により進行了。作文部門では15名の主張発表が行われ、パフォーマンス部門では1グループの発表を行いました。
なお、作文部門において厳正な審査の結果、京都府知事賞には、「当たり前の幸せを」について主張した、南丹市立美山中学校3年の片山若奈さんが選ばれました。
片山さんの主張は、11月に開催される全国大会(主催:独立行政法人国立青少年振興機構)に京都府代表として推薦します。

審査結果

一 作文部門 一

京都府知事賞	「当たり前の幸せを」	片山 若奈	南丹市立美山中学校3年
京都府教育委員会教育賞	「諦めず前を向いて」	大野 扶美可	南丹市立御部中学校3年
京都府青少年育成協会会長賞	「今、みんなに伝えたいこと」	黒田 真衣	京都市立嵯峨中学校2年
京都府PTA協議会会長賞	「心の一步」	藤井 真穂	舞鶴市立東海中学校3年
京都市PTA連絡協議会会長賞	「我が家の年賀状」	藤林 千工	南丹市立八木中学校3年
京都府公立中学校長会会長賞	「心からの喜びにふれて」	竹内 さつき	舞鶴市立川中中学校3年
京都新聞社賞	「福知山線脱線事故」	林 つかさ	京都府立藤原高等学校附属中学校1年
KBS京都賞	「自転車に乗って」	竹村 花菜	南丹市立美山中学校2年
京都府青少年育成協会会長奨励賞			

「家族のきずな」	出原 彩花	長岡京市立豊岡第四中学校2年
「なすべきこと」	小斉 仁	南丹市立御部中学校3年
「ぼくたちにも選挙権を」	森 樹	京都府立福知山高等学校附属中学校1年
「商店街の活動に参加して」	中小路崇仁	長岡京市立豊岡第四中学校2年
「本当の心のつながり」	近藤 楓	南丹市立御部中学校3年
「私の大好きなおばあちゃん」	山下 優華	京都市立鶴ヶ岡中学校3年
「輝」	泉 梨沙	高津市立南郷中学校3年

一 パフォーマンス部門 一
京都府青少年育成協会会長奨励賞
京都市立鶴ヶ岡中学校 読書部 「ぶんぶんクラス 鶴ヶ岡中学の環境への思い」

審査委員の方々 (五十音順)は委員長

井上麗三子 (社)カールスカウト日本連盟京都府支部支部長	郷野 孝宏 京都府府民生活部青少年課長
奥村 尚史 京都市PTA連絡協議会会長	藤田 壽美 京都府公立中学校長会会長
栗田 澄子 京都府連合婦人会理事長	堀井 裕司 京都府PTA協議会会長
津守 俊一 (社)京都府青少年育成協会会長	丸毛 静雄 京都新聞社論説委員
鶴野 美樹 第27回少年の主張知事賞受賞者	◎宮本 英樹 (株)京都放送報道部長
長澤 美明 京都府教育庁学校教育課総括指導主事	



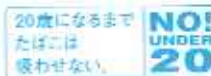
第32回「少年の主張」京都府大会～わたしの主張2010～開催結果



「誰か注意すればいいのに」
それって自分に言いたかった言葉かもしれない。

未成年者の喫煙は、大人一人ひとりが自覚し、社会全体で取り組む問題です。

JTの活動 私たちJTの活動を通じて「未成年者喫煙防止活動」の促進や「禁煙キャンペーン」の推進など、地域に貢献した活動に取り組んでいます。未成年者の喫煙は法律で禁じられています。



平成22年度 青少年育成市町村民会議懇談会 開催

青少年に身近な地域での青少年健全育成を的確かつ効果的な推進を図るため、各青少年育成市町村民会議役員と京都府青少年育成協会役員との地域別懇談会を開催しました。

3地域共通報告内容

- ・社団法人京都府青少年育成協会 事業説明
- ・京都府府民生活部青少年課 青少年の社会的ひきこもり支援事業説明
- ・各青少年育成市町村民会議からの事業報告

◆丹後地域

- 実施日 平成22年7月5日(月)
- 実施場所 京都府峰山総合庁舎
- 参加団体 峰山町青少年健全育成と環境浄化をすすめる会・大宮町青少年健全育成会・新町町青少年健全育成会・丹波町青少年健全育成と環境浄化をすすめる会・御所町青少年を育てる会・久美浜町青少年健全育成会・宮津市教育委員会・京都府丹波地域振興局・京都府青少年課・京都府立青少年海洋センター・京都府青少年育成協会
- 懇談内容(参加者からの提案により)「パトロールは本当に必要なのか!」
・周遊行動の子どもたちを見かけるには24時からになるだろう。
・メリットがどうかでは無く、「お父ちゃん、お母ちゃんたちはやうてるよ!」と子どもに知ってもらうことが大切だ。
・船いところにいる子どもたちにも目が届かない。
・10年ほど前はすごい人数で回っていて風任せ、地域力があつたが、今は役員のみならず不足し、なかなか厳しい状況である。夏祭りなどの行事くらいはできない。
・補導等を目的にパトロールはしていない。地域のコミュニケーション割りに地域として実施している。等



◆山城地域

- 実施日 平成22年7月8日(木)
- 実施場所 京都府山辺総合庁舎
- 参加団体 向日市青少年健全育成連絡協議会・大山崎町青少年健全育成協議会・宇治市青少年健全育成協議会・城陽市青少年健全育成市民会議・久御山町青少年健全育成協議会・八幡市青少年育成協議会・宇治田原町青少年育成協議会・井手町青少年を育てる会・木津川市青少年育成委員会・岸和田町青少年育成委員会・南山村青少年育成協議会・京都府山城地域振興局・京都府青少年課・京都府青少年育成協会
- 懇談内容(参加者からの提案により)「広報紙の発行はどのくらい?」
・年1回(文字を少なくし、写真を多くしている)
・年3回(7月、3月は4ページ、11月は8ページでカラー印刷をしている)
[その他の意見]
・育成協会の「地域ふれあい活性化事業助成金」が今年度からなくなり残念です。
・各市町村の育成会と補導委員会を一体化するべきだと思ふ。(役員が重複している)
・親会の活用を考えてほしい。(協議会等の充実など)
・行政に青少年の指導者養成を充実してほしい。



◆丹波地域

- 実施日 平成22年7月13日(火)
- 実施場所 京都府城郷総合庁舎
- 参加団体 舞鶴子ども育成支援協会・福知山市青少年育成協議会・綾部市青少年育成連絡協議会・南丹市青少年育成協会・京丹波町青少年育成協会・宮津市教育委員会・京都府南丹広域振興局・京都府府民生活部青少年課・京都府立青少年海洋センター・京都府青少年育成協会
- 懇談内容(参加者からの提案により)「会長の高齢化の方法は?」
・前会長からの推薦や自治会連合会会長就任は市町村民会議員となるなどの当て職や会として協議し選出するなど各市町によって様々な選出がされている。
[各市町の目玉事業は?]
・綾部市の豊の大イベント「老尾山夏の大ジャンボリー」についての説明があり、他市町の参加者は興味津々で聞き入られた。



*3地域の懇談会を終えて・・・

各地域とも様々な問題を抱えながら、地域の子どものために、一生懸命に活動をされていることを実感しました。活動されている方のお話を聞くと、自分たちの活動が本当に効果あるのか。目の前にすぐに結果の出る活動でない中で、心の葛藤がけしひしと感じられたところです。年々、地域や子どもたちも成長する。新たな出会いがあることも忘れてはいけません。そういう中で、地域で青少年健全育成活動をする者は、青少年非行について、マンネリ化が懸念されているが継続して行く必要があるのではないか。また、青少年健全育成について、地域で工夫して進めて行くことが大切なことだと思いました。

京都府知事賞
作文

平成22年度 第32回「少年の主張」京都府大会 京都府知事賞

「当たり前前の幸せを」 南丹市立美山中学校3年 片山 若奈

足が自由に動きます。手も自由に動きます。笑うことができます。思ったことを話すことができます。これらは私にとって当たり前前のことでした。

私の両親は早くに離婚し、今私は母と三歳下の二つ子の妹と、それにおばの一家と暮らしています。妹のうちの一人は健康ですが、二人は重い障害を抱えて生まれてきました。そのうちの一人は養護学校に通っています。最初は「歩けないかも知れない」と言われていましたが、今では歩くことも走ることも、

私を蹴ることまでできるようになりました。でもどこかで私は健常者と妹の間に線を引いていたのかも知れません。障害があるから、私と同じことができなくてもしようがないと。

そんなある日、学校から帰った妹を出迎えた時、妹はその口にあつたことを私に話してくれました。

「きょうね、あたし学校でカエー(カレー)作ったの。ほーちよー(包丁)でららいも切ったの。」十年間妹と暮らしてきた私はある程度の言葉なら聞き取れるのですが、「ららいも」だけはどうしても分かりませんでした。「え？ららいもって何？」

「だーかーらーららいもやってばー。」
そんなやりとりを繰り返すうち妹は泣き出してしまいました。その「ららいも」が「じゃがいも」だと知ったのは母が帰ってきた後のことでした。

妹は障害者である前に、人の人間なのです。私達と同じように怒るし、泣くし、笑います。健常者と同じスピードでできないことがすごく悔しくて努力するのです。歩けるかさえ心配された彼女は今、本を詠んだり歌を歌ったり、私と一緒にの努力をしてきたからいます。それは妹が人の何十倍の努力をしてきたからです。言葉を覚え、文字の練習をして、必死に自分の思いを伝えようとしています。もしどこかで諦めていたら今の彼女の生活はないでしょう。そんな彼女を私はとても誇らしく思います。あなたから学んだことは、絶対に諦めない強い心、そして思ったことを人に伝える喜びです。

そして、もう一人の妹はもうこの世にはいません。十年前、二歳の時に私達を置いて天国に旅立ってしまいました。彼女はずっと寝たきりで笑うことすらままならない状態でした。そんな彼女の、手足を動かしたりの動作がとてうれしかったと母とおばから何度も聞かされました。彼女からは精一杯生きる」との尊さを教えてもらいました。

正直私は死んだ妹のことをほとんど覚えていません。しかし母が毎日命日にお餅をあげたり、いつもご飯を少しよそって妹の分をつくったり、どこかへ遊びに行ったりした時妹の分もお土産を買ったりすることから、今もどれだけ愛されているかがとてもよく分かります。

妹は生きたかったでしょう。みんなとご飯を食べてお出かけもしたかったでしょう。生きたくても生きたれなかった妹の思いを受け継いで私は強く生きたいです。

私は妹たちと比べるとはるかに恵まれています。そして妹たちのお陰で自分が恵まれていることに気がきました。そのことを「よかった」、「うれしい」と思うだけでなく、そんな恵まれた私に何ができるのだろうかと考えました。そんな時、校外学習で京都の平和ミュージアムに行き、たくさんさんの生きたかったけど生きられなかった人々の写像を見ました。そこで青年海外協力隊に入るといふ一つの選択肢を見つけました。

どんな人にも当たり前前の幸せをつかむ権利があります。だから私は一人でも多くの人々が幸せをつかむことをその道で支えていきたいと思えます。それが当たり前前の幸せを持たれた私ができる何かだと思います。

足が自由に動きます。手も自由に動きます。笑うことができます。思ったことを伝えることができます。「幸せって何ですか？」と聞かれたら私は迷わず答えます。「今ここで元気に生きていることです。」
——そんな風に答えられる人を、自分の手で増やしていきたいです。

